

# 湖西市診断表のポイント

(H30.2.5 財務省 東海財務局静岡財務事務所)

## 財務指標

平成28年度決算



今後の見通し(平成33年度)

	① 実質債務月収倍率 家計に例えると… 借金が月給の何か月分あるか	② 債務償還可能年数 家計に例えると… 借金を返済するのに何年かかるか(余剰金を全て返済に充てた場合)	③ 行政経常収支率 家計に例えると… 借金の返済に回せる余剰金は年収の何か	④ 積立金等月収倍率 家計に例えると… 預貯金が月給の何か月分あるか
問題なし	28年度:8.6月 ↓ 33年度:9.8月	28年度:7.9年 ↓ 33年度:12.4年	10.0% ↓ 33年度:6.5%	28年度:3.5月 ↓ 33年度:1.6月
注意 やや	18.0月	15.0年	28年度:9.1% ↓ 33年度:6.5%	3.0月 ↓ 1.0月
注意	24.0月		0.0%	

年度	A 債務の状況(①+②)	B 収支の状況(②+③)	C 積立の状況(③+④)
28	○	○	○
33	○	○	×

## 総合評価

債務償還能力(A+B): 28年度及び33年度のいずれも「やや注意」すべき状況です。  
資金繰り状況(B+C): 28年度「やや注意」、33年度「注意」すべき状況です。

### 【参考】財務状況ヒアリングの分析手法

#### 分析の目的と着眼点

債務償還能力(長期)

資金繰り状況(短期)

A 債務の状況

B 収支の状況

C 積立の状況

#### 財務上の問題とその診断基準

債務高水準

収支低水準

積立低水準

- ① 実質債務月収倍率が24ヵ月以上
- ② 実質債務月収倍率が18ヵ月以上、かつ、債務償還可能年数が15年以上

- ① 行政経常収支率が0%以下
- ② 行政経常収支率が10%未満、かつ、債務償還可能年数が15年以上

- ① 積立金等月収倍率が1ヵ月未満
- ② 積立金等月収倍率が3ヵ月未満、かつ、行政経常収支率が10%未満

# 湖西市診断表のポイント

(H30.2.5 財務省 東海財務局静岡財務事務所)

## 現在の財務状況

### ■収支の状況

市内には多くの自動車関連企業があるため、法人市民税と固定資産税(償却資産)の割合が多くなっています。リーマンショックと東日本大震災の影響から平成24年度には収支が悪化しましたが、現在は収入が回復し収支低水準となっております。

### 人口1人当たりの税収(千円/人)

	湖西市	類似団体平均
地方税	192.35	146.61
法人市民税	24.35	13.94
固定資産税 (償却資産)	36.42	17.23

### ■債務の状況

平成26年度より新所原駅周辺まちづくり事業や上ノ原市営住宅建設事業が本格化しましたが、地方債の起債額が償還額を下回るようにしているため地方債現在高は減少傾向にあります。

### ■積立の状況

財政調整基金を30億円程度積み立てることを目標にしており、恒常的な取崩しを抑制しているため財政調整基金残高は増加傾向にあります。また、その他特定目的基金にはふるさと納税の寄付金や公共施設整備のための積立てをしており、こちらも増加傾向にあります。

## 今後の見通し

### ■債務償還能力

今後、道路整備事業やごみ処理施設建設事業が本格化する予定であるものの、今後も地方債の起債額が償還額を下回るような起債方針のため、債務の水準に問題はありません。しかしながら、収入面に関しては法人市民税及び合併算定替え終了による地方交付税の減少、支出面に関しては平成28年度と同程度となる見込みのため収支の状況は悪化する見通しです。そのため、償還原資の獲得にやや注意を要する状況となる見通しです。

### ■資金繰り状況

今後、法人市民税及び地方交付税の減少などの影響により収入は減少しますが、支出は平成28年度と同程度となる見通しです。収入の減少に対応するため、財政調整基金の取崩しを行う影響から、積立低水準となる見通しです。また、上述のとおり収支の状況も悪化し、資金繰り状況は注意を要する状況となる見通しです。

## 留意点

### ○「活気あるまちづくり」に向けた市政運営について

#### (1)総合戦略における施策の実施を通じた‘稼ぐ’取り組みの強化

貴市は、人口の多い浜松市と豊橋市と隣接し、また、両市と比較して土地価格が安価であるという強みを有しており、企業誘致をしやすい環境にあります。これを活かして今後も企業誘致を進めることで法人市民税等の増加が期待されますが、現在推進している浜名湖西岸地区土地区画整理事業にかかる費用は収支計画に盛り込まれておらず、財政負担の増加が懸念されます。また、貴市に通勤する労働者の移住定住に向けて宅地造成にも取り組むこととしており、個人市民税の増加等により一層安定した財政基盤の構築が期待されます。

#### (2)病院繰出金の削減を通じた歳入に見合う歳出構造への転換

市立湖西病院は、医師看護師不足の影響から一般会計からの繰出金によって赤字補てんを受けており、今後も一般会計の負担が見込まれています。一方で、市民からは地域医療体制の整備が求められています。今後も医師看護師確保に向けて、浜松医科大学に対する医師派遣要請の継続等を行うとしており、繰出金の削減が求められるほか、地域医療体制の整備につながることを期待されます。